

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL :0173-57-2001

FAX :0173-57-4929

E-mail :t\_gijyutu\_c@maff.go.jp

### 4月1日付け人事異動 着任ご挨拶 ～お世話になります～



【所長 白戸 副康】

4月1日付けで森林技術・支援センター所長を拝命しました白戸です。

当センターは2度目の勤務となりますが、よろしくお願いたします。

さて、森林・林業政策の抜本的改革を推進していく中で、林業の「低コスト化」は避けて通れないものであり、今後意欲と能力のある林業経営者の育成等を図る際にも非常に重要なものになっているところです。

当センターでは、現在「低コスト化」に関連する技術開発課題を4課題試験調査しており、関係機関と情報の共有を行いながら、なるべく早い時期にその成果をご報告出来るよう取り組んでいければと考えております。

また、ヒバ林施業や海岸林の広葉樹への樹種転換等の地域的な課題へも取り組んでおり、それらの施業方法を確立させることで、地域への貢献が出来ればと考えているところです。

最後に、微力ではございますが、精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。

平成31年4月1日付け人事異動により、森林整備部 森林技術・支援センターの業務係を拝命いたしました青山です。前任地から引き続き、津軽半島での勤務となります。よろしくお願いたします。

当センターでは、林業の低コスト化に向け、東北局管内に試験地を設定し、先駆的な技術や手法の実証を行い国有林野の管理経営、民有林への普及・支援に取り組んでおります。

関係機関並びに各署の皆様と連携し調査に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

話題が変わりますが、私は野山を歩きながら、季節の野鳥や植物を見つけることに楽しさを感じています。これから、そんな小さな発見を皆さんと共有できたらなと思っておりますので、よろしくお願いたします。



【業務係 青山 岳彦】

## 技術開発課題の紹介について

当センターでは、現在6つの技術開発課題に取り組んでいますが、一部ご紹介します。

### 早生樹を使用した施業モデルの構築（平成28年度～平成32年度）

日本国内の広葉樹材生産量は少なく、今後広葉樹材を安定的に供給するためには国内での広葉樹人工林育成が必要です。従来のスギ等と比べ成長の早い樹種を導入することで、植付、下刈の低コスト化、育成期間の短い早生樹の導入をすることで早期に収入を得、林業利回りの向上が期待できます。

少雪地である岩手県沿岸地域と多雪地である秋田県県北地域に試験地を設定し、東北地方の気候等に適した早生樹の樹種及び、下刈、除伐の必要性などを含む施業方法を検討、技術開発し、その普及を目指します。



岩手大学演習林 コリノキ55年生



コリノキ植栽木1年生

### 森をさんぽ



今年は、雪が春先まで降る日が続きましたが、4月になり雪解けが進んでいます。雪解けしたところを見ると、つくしがあちこちに生えています。このつくしですが、正確にはスギナという植物の胞子体になります。そのため、スギナ（つくし）は被子植物や裸子植物ではなく、シダ植物になります。実はスギナは古くから存在し、その仲間は今から約3億年前の古生代石炭紀に

登場したと考えられており、その当時のスギナの仲間は今と異なり、巨大化したものが存在していたようです。そして、これらの植物の遺体が長い年月をかけて、石炭になりました。

つくしの様々な背景を知ってから見ると、ドラマチックに見えてくるのではないのでしょうか。



### 編集後記

4月の異動で顔ぶれも変わり新年度スタートを切りました！早速局管内の挨拶まわりと業務打ち合わせに2000km走行したところです。今年度は仙台森林管理署管内で現地検討会を予定しております。今年度も技術開発課題にかかわる関係各位の皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。m(\_)\_m

